

# 令和元年

## ～Beyond の始まり～



徳島大学運動機能外科学教室 教授  
西良浩一

2013 年、帝京大学より教授として赴任し、教室のテーマは、“Nothing is impossible : 成せば成る” としました。とにかく全員一丸となり、良好なスタートを切りたい思いでした。あれから 6 年。優秀な教室員とともに、“徳島から世界へ”の合言葉に、徳島発の仕事を発信すべく頑張ってきました。同門会員の皆様の様々なお支援もあり、学術的・国際的に素晴らしいロケットスタートとなりました。多くの英文原著論文を生み、ネパール、台湾、ベトナムより多くの留学生を受け入れました。ここに紙面を借り、熱く御礼申し上げます。

時は流れ、令和となりました。徳島県のスローガンは VS Tokyo。我々は一步進んで、“Beyond the TOKYO”を令和のスローガンとしました。“Beyond the TOKYO”を行うには、東京には無い徳島オリジナルな医療を提供する必要があります。東京と同様の医療レベルを行ってれば、誰も交通の便が悪い四国徳島には受診しませんから。目指せ The Tokushima Strategy。

皆様ご存知のように世界で最も有名な病院は米国 Mayo Clinic です。Mayo Clinic は米国ミネソタ州ロチェスター市という、徳島市より交通の便の悪い小さな都市です。なぜ、世界中の著名人は自家用ジェットを飛ばして徳島より田舎の Mayo Clinic を受診するのでしょうか？それは、Mayo には Tokyo にも New York にも London にも無い “anything”があるのです。Mayo Clinic に負けない田舎で、新幹線の無い田舎の徳島も、日本の Mayo Clinic になれるはずですよ。

現在我々は、以下の 3 点において、東京を超える The Tokushima Strategy、つまり “anything”を展開しており、その結果、これまで多くのメディアに取り上げられました。NHKをはじめ、すべての放送局を制覇した地方大学は大変稀有な存在であります。そして、2019 年には、NHK プロフェッショナル：仕事の流儀に、取材され、Beyond the TOKYO が紹介されました。以下、その 3 大

柱です。

### # 1 : 腰痛には謎はない。

現在、国内での常識は、腰痛の 85%が非特異的腰痛であり、原因不明であると言われていています。しかしながら、徳島には謎の腰痛は無い。腰痛の謎を解明し、病態に即した治療を行い、完治に導く。日本各地から謎の腰痛といわれた方達が徳島を受診しております。トップアスリートの集計をみると、これまで謎の腰痛といわれていた 25 名が我々を受診しました。代表的な方は、元読売巨人軍の高橋由伸選手、ハンマー投げアテネ五輪日本代表の室伏由佳選手、プロゴルファーの奥田靖己選手、総合格闘家元世界チャンピオン山本キッド選手(故人)などです。すべての選手の謎を解き明かし、低侵襲治療で腰痛完治に導きました。”謎の腰痛よ、徳島に集まれ!”の気概です。

### # 2 : アスリートの腰痛を、100%を超える状態で復帰

通常、腰痛治療の改善率は 70-80%と言われていています。アスリートは、改善率が 100%でなければ引退を意味します。徳島大学では、腰部を内視鏡手術&リハビリで 100%に高め、ピラティスを使った全身機能改善により 100%以上の状態にコンディションを高めます。この方針で治療した結果、これまで徳島まで多くのオリンピックやプロ選手などの、トップアスリートが受診しております。プロ野球では、これまですべての 12 球団より、選手が私をセカンドオピニオン受診しており、11 選手に手術を行い、全員が完全復帰しています。このシーズンオフも 2 選手の手術が予定されております。NHK プロフェッショナルではオリックスの吉田正尚選手が紹介されました。腰の術後、毎年キャリアハイを継続し、侍ジャパンでも活躍しております。まさに、100%を超える復帰です。東京五輪に向け現在も、バレーボール、陸上競技など、五輪候補選手の受診が後を絶ちません。まさに、アスリートの腰痛治療のメッカになっていることを実感しております。

### # 3 : 局所麻酔内視鏡で運動器治療を可能とする

徳島大学の十八番(おはこ)は内視鏡手術です。脊椎内視鏡をはじめ、肩、肘、股、膝、足関節など、あらゆる病態を内視鏡で治療するプロフェッショナルの集団です。特に腰痛への内視鏡手術は徳島大学で開発した世界初の手術術式があります。腰部脊柱管狭窄症への内視鏡手術であり、局所麻酔・全内視鏡・腹側椎間関節切除術(PEVF)と命名し、世界に先駆け行っております。Lateral Recess を transforaminal 法で除圧する術式です。局所麻酔で行えるため、全身状態の良くない高齢者の方でも手術がうけられるというメリットがあります。

この手術目的に、全国から、ぞくぞくと受診希望が後を絶ちません。本年は米国からも2名受診しております。

さて、私以外にも **beyond** を目指す取り組みは行われております。スポーツグループでの野球肘の取り組みは以前より日本全国から注目されております。また、肘関節鏡手術の長期成績も高い評価を得ております。関節グループでは近年の **CAL** によるバイオメカニクス研究が国内最先端となり、本年、国立大学病院としては初めてとなる手術ロボットを導入いたしました。さらに成績向上となり県外から注目されること間違いございません。腫瘍グループも“徳島ならではの”と言われる新しい悪性腫瘍治療法開発に着手しました。今後が楽しみです。

さて、本年は徳島大学開学70周年となりました。大切な式典に、徳島大学約250名の教授陣を代表して、私が野地澄晴学長より指名され、特別講演を行いました。大変光栄な、また最高の栄誉であると思います。

図1：徳島大学70周年祝賀会

図2：徳島新聞

令和となり、徳島大学整形外科はますます戦う集団へと進化致します。日本整形外科に徳島あり、と言われるように教室員共々精進続ける所存です。皆様方、ご最員のほどよろしくお願い申し上げます。



# 徳島大学創立70周年 記念講演会

令和元年

# 11月3日 (日・祝)

## 13:00-14:50 (開場12:30)

**場所** JRホテルクレメント徳島 4F  
(徳島市寺島本町西1丁目61)

**定員400名**

**参加者募集**【入場無料】

ご参加には聴講券が必要です  
(応募者多数の場合は抽選)

※講演会では未就学児の入場はご遠慮ください。



徳島大学大学院医歯薬学研究部 運動機能外科学 教授



アルピニスト

## 西良 浩一 氏

## 野口 健 氏

第1部  
講演

13:05~

「“Beyond The TOKYO”

腰痛治療最前線

～徳島からこの技術を全国に～」

第2部  
講演

14:00~

「あきらめないこと、それが冒険だ」

座長：西良浩一

(徳島大学大学院医歯薬学研究部 運動機能外科学 教授)

**"Beyond The TOKYO"**  
腰痛治療最前線 ~徳島からこの技術を全国に~

徳島大学運動 西良浩一氏  
機能外科学教授

世界に誇る腰痛治療を  
東京ではなく徳島から

アメリカで、華々しい胸を張る。西良浩一氏。徳島大学運動機能外科学教授。腰痛治療の第一人者として、国内外で知られる。徳島から、この技術を全国に。

「整形外科の常識を覆し  
腰痛の謎を究明」

「整形外科の常識を覆し、腰痛の謎を究明」。西良浩一氏は、腰痛治療の第一人者として、国内外で知られる。徳島から、この技術を全国に。



西良浩一氏

西良浩一氏は、腰痛治療の第一人者として、国内外で知られる。徳島から、この技術を全国に。



徳島大学運動機能外科学教授 西良浩一氏

常に一歩先を見つめる  
次世代の教科書をつくる

西良浩一氏は、腰痛治療の第一人者として、国内外で知られる。徳島から、この技術を全国に。

あきらめないこと、それが冒険だ



野口健氏

雪崩被害の後遺症で  
激しい首の痛みを発症

2017年11月、河津川で雪崩被害を受けた野口健氏。激しい首の痛みを発症し、治療を受ける。

アルビニスト 野口健氏

一人の医師との出会いが  
僕の人生を変えた

野口健氏は、雪崩被害の後遺症で激しい首の痛みを発症し、治療を受ける。一人の医師との出会いが、彼の人生を変えた。